

イヌコリヤナギ

Salix integra Thunb.

ヤナギ科
Salicaceae

カテゴリー

大分県 II
環境庁 掲載なし

選定理由 県内の生育地は極めて限定されており，個体数も少ない。溪流辺の改変や湿地開発により，生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布 日田低地・丘陵地，九重火山群，由布・鶴見火山群

分布域 本州 九州(佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
朝鮮半島 中国(東北部) ,アムール ,ウスリー ,千島

生育環境 丘陵地から低山地の溪畔や湿地。

現 状 生育地は溪畔に近く，川の氾濫や土地の改変により消滅した所がある。

コウライヤナギ

Salix koreensis Anders.

ヤナギ科
Salicaceae

カテゴリー

大分県 情報不足
環境庁 掲載なし

選定理由

県内分布 (耶馬溪地区)，(九重火山群)

分布域 本州(西部) 九州(佐賀・大分)
朝鮮半島 中国(東北部)

生育環境

現 状 「耶馬溪地区」，「九重火山群」の標本はあるが，その生育地は把握されていない。

ノヤナギ

Salix subopposita Miq.

ヤナギ科
Salicaceae

カテゴリー

大分県 準
環境庁 掲載なし

選定理由 本県では火山性高原の風衝地に生育し，しばしば群生している。野焼きの停止や牧野改変による生育環境の変化で，生育状態の悪化が懸念される。

県内分布 耶馬溪地区，姫島・国東海岸，英彦山・犬ヶ岳山地，日田低地・丘陵地，玖珠丘陵地・山地，九重火山群，由布・鶴見火山群，大分川・大野川丘陵地，豊後水道後背地域，大野川上流域，祖母・傾山地

分布域 本州(中国) 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分)
韓国(済州島)

生育環境 丘陵地から山地の乾燥した風当たりの強い草原。

現 状 消滅の主たる原因は土地改変によるもので，「九重火山群」や「由布・鶴見火山群」では消滅した生育地がある。

備 考 大陸系遺存植物。